
今日のカ

2024年9月16日～9月22日

翻訳 岡元 裕子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳者・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

9月16日(月)

神様と格闘する

聖書朗読 創世記 32:24～32

どうか、私たちの神が、あなたがたをお召しにふさわしい者にし、また御力によつて、善を慕うあらゆる願いと信仰の働きとを全うしてくださいますように。

テサロニケⅡ 1:11

率直に言って、レスリングはあまり人気のあるスポーツではありません。私は観るのも、話題にするのも、参加するのも好きではありません。練習はきついし、汗だくになるし、いつ何時押しつぶされるかもしれない格闘技です。

でも、霊的な見方をすると、私たちは皆レスラーだと言えます。頑な^{かたく}さやわがままや信仰の足りなさ^{かた}と何度も何度も繰り返し格闘しています。疑いや恐れによつて、私たちは振り回され、押さえつけられ、降参するまで押しつぶされます。神様のみわざがなされますように、みこころが成りますようにと、何度も何度も祈ります。

ヤコブは神様と一晩中戦い、ついに降参しました。でも、その戦いによつて、彼は主の祝福とイスラエルという新しい名前をいただいて、人生が変わりました。

あなたは今、どういう状態ですか。神様と格闘しましたか。

神と格闘するほどの祈りによつて神に近づくこと

それは必ずしも私たちには幸福とは感じられないかもしれないが
私たちを強くする

— チャールズ・スボルジョン*

(*訳注:イギリスの著名なバプテスト派の牧師・伝道者・説教者。1834-1892)

讃美歌 58 神よ みまえに

祈り 神である主よ、あなたのみこころに沿いたいと願います。あなたが私に望まれることが、私自身も望むものでありますように。イエス様のお名前によつて。アーメン。



テキサス州 ラボック / シェリー・リームズ

9月17日(火)

自分がへりくだっていると思うなら

聖書朗読 創世記 37:1~11

だれでも、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされます。

マタイ 23:12

私が教えている日曜学校で、ある男の子が「謙遜というのは、何か良いことをしても自慢しないことです。」と言いました。きっと彼は謙遜だったことも、自慢したこともあるのでしょう。

あいにく、青年ヨセフには謙虚な態度をとろうなどという気持ちはまるでありませんでした。それどころか、そんなことを言ったら兄たちがどう思うかなどはお構いなしに、畑で束を作っていたら、兄さんたちの束が私の束を伏し拝んだという夢の話をしました。ヨセフが以前、兄たちの悪いわさを父ヤコブに告げ口していたこととあいまって、この夢の一件によって兄たちはますます彼を憎むようになりました。

幸い、奴隷として売られ、その後のさまざまな経験を通して、ヨセフは貴重な教訓を学んだようです。時を経て兄たちがエジプトにやって来た時、ヨセフは以前は持ち合わせていなかった親切をもって兄たちに接しました。

私たちの謙遜度はどのくらいでしょうか。すべての良きものについて神様に栄光を帰していますか。だれかの間違いを見つけた時、思いやりを示していますか。それとも厳しく批判していますか。子どもたちに、自慢するのは止めようねと教えていますか。

自分がへりくだっている時を知るのは難しいです。謙遜であろうと努めるあまり、高慢になってしまうかもしれません。へりくだる練習として、話す時にはいつも自分のことよりも他の人たちを高めて、いつも神様に栄光を帰すようにしましょう。

讃美歌 II 194 おおみ神をほめまつれ

祈り 天のお父様、へりくだることが出来ますように。自分のことばかりではなく、他の人たちのことを考えられますように。イエス様のお名前によって。
アーメン。

ケンタッキー州 ニューポート / ラニータ・ブラッドリー・ボイド

9月18日(水)

いかなる障害があっても

聖書朗読 創世記 41:25~32, 37~46

パロはなおヨセフに言った。「さあ、私はあなたにエジプト全土を支配させよう。」

創世記 41:41

ヨセフの人となりを行いを表すとしたら、どのような言葉が当てはまるでしょうか。静かなる勇気の典型ですか。忍耐のイメージキャラクターでしょうか。まるでピンポン玉のように、彼は人生の両極端を行ったり来たりしました。年寄り子としてだれよりも愛されていたのに、兄たちに裏切られました。自由な身だったのに、奴隷に売られました。信頼されて管理を任せられたかと思えば、身代わり利用されました。囚人から国民的英雄になりました。

ヨセフの性格の長所をいくつかあげると、首尾一貫していること、目的意識を持っていること、揺るぎない価値観を有すること、順応性に富んでいること、家族思いであることなどでしょう。

確かにヨセフは失意の日々を過ごしました。見捨てられ、忘れられ、とがめられた時、悲痛の思いに打ち負かされたことでしょう。そのような損害は甚大で、自らのアイデンティティ*や安心感を失うことはとても辛いことです>(*これが自分だと言える特徴)。

でも、ヨセフは父親のいるカナンの中でも、パロの右腕としても、耐え忍びました。彼は実際、主のお導きを経験していました。手近な周囲にあるものよりも大きなお方、主に頼ることを学んでいました。今現在の窮地の先を見越すことができました。私たちもヨセフから学んで、自分が現在置かれている状況の先を見ることにしましょう。

讃美歌 II 191 主のまことはくしきかな

祈り 主なる神様、ヨセフの物語には私たちの魂への教えがあります。ヨセフのように私たちも混沌の只中であって確固たる信念を持つ必要があります。私たちが遭遇するいかなる障害よりも、あなたは偉大なお方です。どうぞ御手をもって私たちをお導きください。キリストにあって。アーメン。

テキサス州 ヒューストン / ヴァージル・フライ

9月19日(木)

花嫁の入場

聖書朗読 民数記 30:2~4

花嫁を迎える者は花婿です。そこにおいて、花婿のことばに耳を傾けているその友人は、花婿の声を聞いて大いに喜びます。それで、私もその喜びで満たされているのです。
ヨハネ 3:29

聖書に出てくる“誓願”とか“契約”という言葉は、誰かが厳粛な約束、聖なる誓約、献身、個人的な約束をするという意味で使われています。私たちが最もよく耳にするのは結婚式での誓いの言葉です。

私の3人の孫娘たちが、ある夏、こぞって結婚しました。美しい花嫁や、喜びでいっぱいの花婿を見、彼らが誓いのことばを交わす場に証人として立会うのはとても感動的でした。赤ちゃんだった頃から成長して大人になるまでの思い出で胸がいっぱいになり、涙があふれました。伝統にのっとった結婚式の誓いに立会うと、何か神聖な感じがします。聖書には“花嫁”という言葉が53回出て来て、結婚を喜びと宴の祝いとして尊重していることを嬉しく思います。

結婚式というと、私たちは誓い、契約、誓約のことを考えます。神様は、信じる者に永遠のいのちを与えるという最大の誓いを約束してくださいました。(ヨハネ 14:1~3) 私たちが神様や他の人たちにした約束を考えてみましょう。その約束を忠実に全うしつつ、約束を守る喜びを経験しましょう。花嫁と花婿の誓いのことばが始まります。

聖歌 313 主よわがいのち

祈り 愛するお父様、私たちの立てる誓いや、口にせる約束があなたに尊ばれるものでありますように。あなたや人々を愛し、お仕えするという約束を守れるようにお導きください。イエス様の尊いお名前によって祈ります。アーメン。

カリフォルニア州 サウザンドオークス / スーザン K・ギボニー

9月20日(金)

良き隣人であれ

聖書朗読 ヨシュア記 2:12~22

どうか、私があなたがたに真実を尽くしたように、あなたがたもまた私の父の家に真実を尽くすと、今、主にかけて私に誓ってください。 ヨシュア 2:12a

“すべての人間は生まれながらにして平等である”という言葉は有名です。でも、この言葉がアメリカ独立宣言の一部に加えられた1776年には、奴隷制度がまだ存続していました。(訳注:1863年 奴隷解放宣言)

“あなたの隣人を愛しなさい”というのは命令としてはわかりますが、実践としてはどうでしょうか。自分たちとは異なる人たちに対して隣人としてふるまう勇気がありますか。ヨシュア記2章にはそういう状況が書かれています。

聖書の中でラハブが最初に紹介されたのは、およそ神様が憎まれるありとあらゆるものにどっぷり浸かっている世界で生きている不道徳な女としてでした。ヨシュアが偵察として遣わした二人の者を、遊女ラハブはかくまい、屋上に隠しました。遊女が神の民の隣人になりました。ラハブは、自分とは丸っきり違う人たちの隣人になったのです。

自分とは違う人の隣人になるには勇気が要ります。ラハブは命懸けて、偵察に来た二人に真実を尽くしました。自分の住んでいる地エリコの人たちに逆らう行いをしました。それに対して、彼女の家族に同じように真実を尽くすよう願いしました。二人の偵察は「おまえはよそ者だからダメだ」と言うこともできたでしょう。でも、彼らは自分たちが真実を尽くしてもらったように、真実を尽くしました。親切な行いによって素晴らしいことを成すことができます。隣人を自分自身のように愛するためにみんなで努めましょう。

讃美歌 II 169 み神のみまえに

祈り お父様、あなたが全世界を愛しておられることを覚えさせてください。隣人に接する時、あなたが優しくご覧になるように見ることができるよう。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル / ジョッシュ・バーネット

9月21日(土)

ハンナに学ぶ

聖書朗読 サムエル記 第一 1:1~11

しかしハンナには特別の受け分を与えていた。主は彼女の胎を閉じておられたが、彼がハンナを愛していたからである。 サムエル I 1:5

知り合いの中にお互いに妬み合い、腹を立て合っている人たちがいますか。今日の箇所には、エルカナのふたりの妻、ペニンナとハンナが出てきます。ペニンナは男の子ふたりを産みましたが、ハンナには子どもがありませんでした。ペニンナはハンナを憎み妬んで、苛立たせるようなことばかりしました。ハンナはペニンナのいじめを気に病んでいましたが、仕返しするかわりに、主の慰めを求めました。

誰かにイヤなことを言われたり、されたりして傷ついた時に、他の人のところではなく、すぐに主のもとに行く人がどれくらいいるでしょうか。ハンナの心はいじめによって弱くなっていましたが、信仰は固かったのです。『ハンナの心は痛んでいた。彼女は主に祈って、激しく泣いた。』とあります。(サムエル I 1:10)

悩む時、私たちは主に向かって、個人的に傷ついたこと、恐れていること、心配していることを打ち明けましょう。神様は聞いてくださると約束しておられます。ハンナは一旦、悩みを主の前にさらけ出すや、『彼女の顔は、もはや以前のようではなかった。』(18節)とあります。心配事を神様におゆだねして、神様に担っていただきましょう。

重荷を負っている人はわたしのもとに来なさいとおっしゃった主を信じましょう。誰かの言葉で傷ついたなら、主におまかせしましょう。そうすれば、あなたの心は痛むことはないでしょう。

聖歌 425 つみおもにをのぞくは

祈り 主よ、重荷や他の人たちへの悪い思いをあなたの御前に降ろします。それらが怒りや辛さにならないように、お導きください。日々、言葉や行いによってイエス様の愛を示すことができますように。イエス様のお名前によって。
アーメン。

サウスカロライナ州 コロンビア / マーク・ヤング

9月22日(日)

自分ではなく神様を敬う

聖書朗読 サムエル記 第一 15:1~12

この場合、管理者には、忠実であることが要求されます。 コリント I 4:2

ある日の午後、私は将来有望と目されている若い部下にお金を預けて、店に行って、これこれの品をと事細かく指示して、買ってくるように頼みました。帰ってきた彼の手にあったのは、私が指定した物よりも安い物でした。彼いわく、節約できて私が喜ぶだろうと思った。私はカンカンに怒りました。彼が買ってきた安い製品では私の計画の用をなさないのです。部下は私のやり方より自分のやり方を重視したのです。

神様はサウル王に、アマレク人がイスラエルの民にした残忍なしわざゆえに、(訳注:申命記 25:17-19)具体的に指示して、彼らを聖絶しなさいという困難な仕事を与えられました。しかし、サウルは中途半端に主に従いました。完全なる従順によって神様を敬うかわりに、自分自身の行為を祝って、自分のための記念碑を建てました。結局、サウル王は神様の心にかなう人ではありませんでした。神様は、神様に心から従おうとする新しい指導者を探し、賜物を持って祝福されました。

人は神様から多くの祝福をいただいています。子どもたちや、家や、仕事や、地位や、才能や、機会や、影響力といったものです。でも、それらの恵みひとつひとつに対して、私たちは選択しなければなりません。神様を敬いますか、それとも自分自身の手柄にしますか。

讚美歌 448 みめぐみをみにうければ

祈り 恵みに富みたもうお父様、毎日、多くの賜物をもって祝福して下さって、ありがとうございます。あなたの大いなる賜物と愛を覚えていられますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

ワシントン州 エヴァレット / ロン・グズマン